<空白行>――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

主題(20ポイント、MSゴシック、太字)

―　副主題(15ポイント、MSゴシック、太字)　―

<空白行>――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

(MSゴシック、11ポイント、右寄せ) ○○県技術・家庭科研究会

(MSゴシック、11ポイント、右寄せ) ○○立○○○中学校　奈良　大和

(MSゴシック、11ポイント、右寄せ) ✕立✕✕中学校　技家　匠

<空白行>――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

**１全題目(MSゴシック、太字)**

　○○○題目の数字の後、および、段落の書き出しは、全角スペースを入れる。

**(1)半次の題目(MSゴシック、太字)**

○○○(番号)は半角とし、桁をそろえるため番号が奇数桁の場合は、)の後に半角のスペースを入れる。

**①全さらに次の題目(MSゴシック、太字)**

○○○この題目では、１文字分のインデントで字下げし、項目番号①の後に全角スペースを入れる。

**ア全さらに次の題目(MSゴシック、太字)**

○○○この題目では、２文字分のインデントで字下げし、項目番号①の後に全角スペースを入れる。

**(ｱ)半さらに次の題目(MSゴシック、太字)**

○○○(半角)記号の後に半角のスペースを入れる。

・右の例を参考に、題目(表題)の番号、記号を使い分けることとする。

・各題目と記号はMSゴシックの太字とする。

・１、①、アの全角記号の後には、全角のスペースを入れる。

・(1)、(ｱ)の半角記号の後には、桁のずれを防ぐために半角のスペースを入れる。

・箇条書きは文頭に[・]を用いる。

・句読点は[、]　[。]を用いる。

・指定のないフォントはMS明朝、サイズは10.5ポイントとする。

・数字は１桁の場合は全角とし、２桁以上では半角とする。(１、５、12、2016)

・３桁以上のキス受けたの数字は、半角分を足したスペースで均等割り付けをする。

 123　→　123**半**　→　123

・複雑な表は、細線、中太線を使い分ける。

<<付記>>

・文体は常態「・・・・である。」とする。

・図表や写真の挿入など、必要に応じた段組の解除や、横置きのレイアウトに変更することは可とする。

・図表中のフォントは、本文に準じて使用する。

・図や写真などを挿入した場合は、それらの下中央に、図１　○○○、写真２　○○○、のようにMSゴシックで名称を表記する。

・引用する場合は出典を明記する。

・書式について（このファイルは適用されています）

(1)用紙について A4版縦置きの横書き(分科会4ページ)

(2)基本フォント MS明朝(数字、和文フォントに同じ)、10.5ポイント

(3)1ページ文字数等 23字×42行×2段組

(4)マージン等 上下端20mm、左右端16mm、段間7mmを目安とする